

令和7年度 北九州市立富野小学校学校経営構想

基本理念

本校は、教育の専門機関として、教育活動を通して、児童一人一人が自立し、将来を心豊かにたくましく生きるに必要な力を育んでいく。教育活動の展開では、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法、学習指導要領、本市教育委員会による「北九州市こどもまんなか教育プラン」の趣旨に沿い、児童や地域の実態、保護者・地域の願いや期待を踏まえ、本校の歴史と伝統を大切にしつつ、特色のある学校づくりを目指す。その実現には、教職員の全てが、学校経営に積極的に参加し、使命感をもって、児童のためにより良い教育活動を実践創造していかなければならない。また、公教育に従事するものとして、教育の中立性及び公正性を重んじ、教育への市民の負託に応えるべく、常に自己研鑽に努め、子どもへの教育を実践し、その責任を果たす必要がある。

学校教育目標「豊かな人間性、確かな知性、たくましい心身の健康」

法規・法令 憲法、教育基本法等 北九州市の教育施策

「北九州市こどもまんなか教育プラン」

ミッション1

全てのこどもにとって「居心地の良い学校」をつくる

ミッション2

失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる

ミッション3

誰一人取り残さない学びと、先端的な学びを進める

ミッション4

学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める。

ミッション5

地域とのつながりの中で、こどもを見守り、支え育てる

めざす学校像

- すべての子どもたちの学習権を保障する学校
- すべての教職員が働きがいのある学校
- すべての保護者、地域の方が頼りがいのある学校
- すべての人が気持ちよく過ごせる、安全できれいな学校

保護者の願いや期待
保護者の実態
保護者の信頼と情報

地域の願いや思い
地域の実態
地域の信頼と情報

めざす教師像

- 心身ともに健康で温かい思いやりと厳しさのある教師
- わかる授業に取り組み、子ども一人一人を支える教師
- 使命感に燃え、常に自己研鑽に努める教師
- 和を大切にし、協働意欲にあふれる教師
- 保護者および地域の方や子どもに信頼される教師

めざす子ども像

- 自分で考え、行動する子ども【**自律・自立**】
- ちがいを理解し、他者を尊重する子ども【**尊重**】
- 豊かな発想をもち、創意工夫する子ども【**創造**】
- 健やかな体を目指す子ども【**健康**】

一人で抱え込まない。

人の力を活用し、チームとして動く教師集団

育てたい「生きる力」

—他者と共存しながら自分らしく生きる力—

- ・人を大切にする力
- ・自分の考えをもつ力
- ・自分を表現する力
- ・チャレンジする力

学校経営の重点と具体的方策

誰にとっても、居心地のよい学校・学年・学級づくり

1 基本的学習習慣・生活習慣の定着

- ① 富野小スタンダードの実践
- ② 学習規律の確立
- ③ 個々の子どもの背景を考慮した指導の推進

2 特別支援教育の指導体制づくり

- ① 支援学級と交流学級との連携を密に
- ② コーディネーターを中心とした校内体制の確立
- ③ 配慮を要する子どもの特性に応じた対応

3 確かな学力の向上

- ① 授業改善【**学びあい・主体性**】（富小授業スタンダード）
- ② 学習内容定着の取組（朝自習・補充学習）
- ③ 少人数授業、TT 授業、専科授業の充実

4 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

- ① 自発的、自治的な活動の推進（特活等）
- ② いじめを許さない学校・学級づくりの徹底
- ③ 生活指導の継続、家庭との連携の徹底
- ④ 子どもと向き合う時間の確保（業務改善）
- ⑤ 体力向上の継続的な取組と環境整備

5 人権教育の推進

- ① 人権カリキュラムの実践と検証
- ② 保幼小中連携の継続
- ③ 校区の歴史、実態を学ぶ。研修会への積極的な参加

子どもの話をしっかり聞こう

子どもをほめよう

日々の授業を大切にしよう

仕事の効率化を図ろう

職員同士でよく話をしよう

保護者・地域としっかりつながろう

ひと手間をかけよう

担任は子どもファーストで

担任外は担任ファーストで

教科経営・校務分掌運営、スクールプラン、自己評価自己申告書、学校評価等